

立教学院 環境レポート

vol.6

2023年7月
立教学院 省エネルギー推進連絡会 発行



立教学院の環境配慮に関する方針、及び取り組み

本学院の環境保全活動は、「立教学院 省エネルギー推進連絡会」において、以下の方針のもと、各取り組みを推進しています。

ここでは、コロナ禍の影響を受けた2021年度および2022年度の取り組み事例、エネルギー使用量や、排出量等の推移について報告いたします。

地球環境の保全については、行政や企業がそれぞれの目標を設定して対策を講じるだけでなく、私たち一人一人が日常的に小さな対策を意識し実践していくことが大切です。皆さまの環境保全に向けた意識がさらに向上するよう、今後も活動を進めて参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

立教学院 環境保全の 取り組み方針

1. 環境に配慮した施設・設備の導入
2. エネルギー使用量の削減
3. 廃棄物・資源のリサイクル率向上
4. 化学物質等の適正管理
5. 進捗確認や啓発活動等の推進



2021年度・2022年度のCO₂排出量の概況

本学院の対比、排出量削減状況

対前年比で82%下がった。環境証書付の電気需給契約を締結したため、電気由来のCO₂排出が大幅に削減した。

単位:t-CO₂

校地	2021年度	2022年度	減少量	減少率
池袋	8,222	1,241	△6,981	△84.91%
新座	4,345	977	△3,368	△77.51%
その他(※1)	291	18	△273	△93.81%
合計	12,858	2,236	△10,622	△82.61%

※1 その他は富士見、横須賀、上大崎が該当する。



2022 年度における取り組み事例

(1) エネルギー使用量の削減

節電・節水・節ガスに向けた取り組み（全学院）

集中リモコンによるスケジュール・温度設定管理、現場巡回による使用していない教室などの照明・空調のスイッチオフ、またクールビズ、ウォームビズの実践、スイッチ周辺に節電・節水協力のステッカー貼付等の啓発活動を継続している。

(2) 廃棄物・資源のリサイクル率向上

1) ゴミの分別方法などの見直し（立教大学）

2017 年度に実施した、ゴミの分別方法などの変更の結果、さらなる課題が抽出された。この課題を解決するため、適正な分別方法を周知するためのポスターを新たに貼付けるとともに学内において回収した後のゴミの仕分けを開始した。2022 年度は前年比 1.8%減少し、コロナ前の 2019 年度と比べると、30%少ない値となっている。また、リサイクル率は概ね 50～60%となっている。

2) 落葉の処分（立教大学・新座キャンパス）

秋～冬に発生する大量の落ち葉について、新座・富士見市については複数の個人の協力のもと無償で引き取っていただいております。今後も継続していただく予定である。これらの落葉は堆肥化（腐葉土）され、リサイクルされている。

(3) 化学物質等の適正管理

1) 化学物質など

教育・研究で使用する化学物質及び排水処理について、法規を厳守した基準・マニュアルに準拠し、年間を通じて適正に管理している。化学物質については、購入・使用・廃棄を一元管理する薬品管理システムを導入し、かつ定期的に棚卸を実施し、適正かつ厳正な管理を継続している。

2) ポリ塩化ビフェニル (PCB) 汚染物

各校全ての PCB 汚染物については、法規を厳守し、適正かつ厳正に管理している。2017 年度までにこれらの内、低濃度 PCB 汚染物と高濃度 PCB 汚染物の処理を実施した。2019 年度は、立教大学新座キャンパス、立教新座中学校・高等学校で保有する高濃度 PCB 汚染物の処理を完了させた。当時保有していた高濃度 PCB 汚染物は、2019 年度以降に順次、処理を継続している。2022 年度は、新たに発覚した高濃度 PCB を含め全て処理した。2027 年 3 月 31 日迄に低濃度 PCB を全て処理する計画としている。

3) 吹き付けアスベストなど

使用されているアスベストなどの全ての箇所について、封じ込め・囲い込み措置済みであり、現在飛散はない。また措置済みの箇所は定期的な目視点検及び粉塵濃度測定を実施し、飛散状況の確認を継続している。2019 年度、夏季休業期間中に、池袋キャンパス 5 号館 ロビー天井に設置されているアスベストの半数程度を撤去した。また、池袋キャンパス メーザーライブラリー記念館（新館）中 2 階 書庫天井の封じ込めとなっている天井の一部を囲い込み措置へと変更した。2022 年度は変更はない。今後も定期的な点検・測定を継続し、適宜、適切な対策などを講じる。

(4) 進捗確認や啓発活動等

省エネルギー推進連絡会は設立以来、関係各校等で年度ごとに設定した取り組み目標について共有している。進捗状況を報告し、課題や改善点についても相互に確認・点検を行っている。

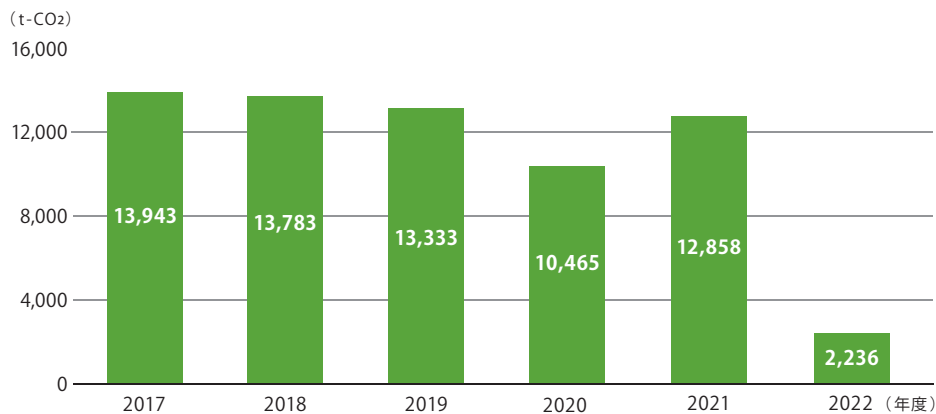


CO₂排出量、エネルギー使用量・廃棄物使用量の推移

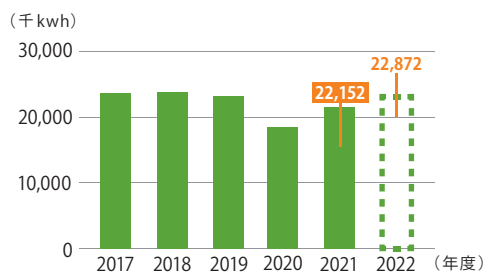
2022年度のCO₂排出量は、2021年度対比でCO₂排出量が△82.61%減少となりました。



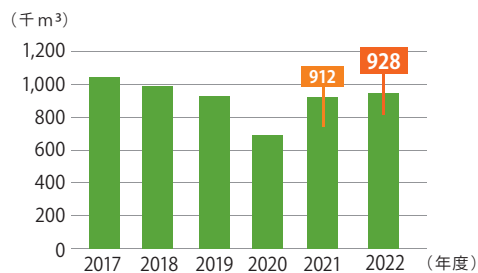
CO₂排出量



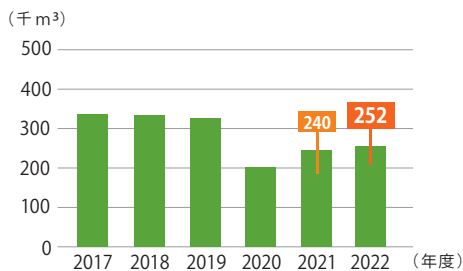
電気使用量



ガス使用量



水道使用量



廃棄物排出量

